Workshop・ワークショップ

「Treeing」—ツリーイング体験

内田一成
ツリーイングマスター

樹の上から見えるのはどんな景色？ 安全に木登りを楽しむことのできるツリーイング講座は、二期の森が違って見える、自然の発見でいっぱい。

樹高 10 メートルへの挑戦

「ツリーイング」とは高い木に登り、木の上で遊ぶアウトドアレジャーのひとつです。登り方はとても簡単。樹冠の太い枝にロープをかけ、ロッククライミングのようにハーネスをつけて、ぶら下がった状態でロープを手繰り寄せ、木の上へ登ります。特別な技術は必要なく、器材があれば誰でも安全に木登りを楽しむことができます。

二期の森の樹高は 10〜15 メートル。実際に樹木の下に立つと、とても高く感じます。ハーネスをしっかりと装着し、カラビナでロープと固定したら、両手でぶら下がったロープを掴みます。「簡単だよ」という内田先生の言葉にはげまされて、思い思いのペースで登りはじめました。

自分の身長よりも高いところに登ってみると、思いのほか視界が開けます。また、木の上にはカブトムシやクワガタが生息し、アカゲラ(きつつき)の開けた巣穴や、木の幹に生えるキクラゲなど、ふだん見られないものを間近で観察することができます。

疲れてきたら、ハンモックでひと休み。ツリーイングのハンモックは、ふつうのハンモックとは異なり、足も届かない地上 10 メートルに設置します。やわらかな風がとても心地よく、ときおり鳥たちが近くまで遊びにやってきていました。

また、2 本の木にロープをかけて宙吊りのブランコも楽しめます。こちらもふつうのブランコよりも断然高さがあります。木立の間をすり抜ける空中のブランコ、子供も大人も思わず声をあげてしまいます。

たくさん遊んだあとはキッチンガーデンに移動し、採れたての夏野菜をこんもり載せた特製ピザでお昼ごはんです。自然とは楽しいもの、森の木々は温かいもの、ツリーイングを通して体感できる自然のいろいろなことを内田先生を囲んで、たっぷり話しあいました。

まずはハーネスを付けます。カラビナにロープを通して、手足を使って大きなロープの輪を絞り、登っていきます。まるでロッククライミングのような装備。

吹き抜ける風が気持ちいい、地上から約5Mの空中ハンモック。満員ハンモックはどんなに揺らしてもひっくり返りません。